



2025年9月30日

各位

会社名 保土谷化学工業株式会社  
代表者名 取締役社長 松本 祐人  
(コード 4112 東証プライム)  
問合せ先 執行役員兼経営企画部長 橋爪 英明  
(TEL 03-6852-0327)

### 韓国連結子会社の株式上場準備開始に関するお知らせ

当社連結子会社である SFC CO., LTD. (以下、SFC) は、このたび証券会社2社と主幹事契約を締結し、「韓国取引所証券市場 (KOSPI)」への株式上場に向けた準備を開始することになりましたのでお知らせ致します。上場の内容等は別添資料の通りです。

なお、株式上場に際しては韓国関係当局の承認を前提とすることに加え、上場の予定時期、市場等については決定したものではありません。

今後の進捗状況を踏まえ、開示すべき事由が発生した場合には適宜公表してまいります。

以上

## 上場準備の内容

**上場時期** 2026年内

**上場市場** 韓国取引所証券市場 (KOSPI)

**主幹事証券会社**

- ・代表主幹事：未来アセット証券
- ・共同主幹事：韓国投資証券

(※) 関係当局の承認が前提であり、  
上記は全て現段階の予定です。

## SFC 会社概要

**代表者** Kim, Yong-Kwan, Ph. D.

**事業内容** ・有機EL材料、バイオ材料、半導体材料の開発・製造・販売

**事業所** ・本社・研究所・第二工場 ・BioPark  
・忠州 第1・第2キャンパス ・陰城 キャンパス  
※全て、忠清北道外国人投資団地

**主要株主** ・当社、Samsung Group

**売上高等** (2024年度)

- ・売上高：172億円
- ・最終利益：35億円
- ・総資産：217億円
- ・純資産：195億円
- ・従業員数：325名 (2024年度時点のREXCEL CO.,LTD.を含む)

## SFC 沿革

**1998年** 設立

**2001年** 有機EL材料の開発を開始

**2005年** ・白色OLED用材料開発

- ・世界最高水準の青色発光材料開発

**2010年** 当社が33.8%の株式を取得。

**2011年** ・当社の連結子会社となる。

- ・当社と現Samsung Display Co., Ltd.との間で、SFCに対する株主間契約を締結。(当社持株比率51.9%)
- ・忠清北道オチャン外国人投資団地にR&D、生産および本社機能を有する施設を設置

**2014年** BIO蛍光材料の研究開発を開始

(2017年 Kim, Yong-Kwan等によりREXCEL CO.,LTD 設立。その後、当社も出資し連結子会社化)

**2019年** オチャンR&Dセンターを増築

**2020年** ・売上高が1,000億ウォンを突破

- ・COVID-19診断用蛍光材料の開発・量産

**2022年** 当社が株式を追加取得 (持株比率：56.4%)

**2024年** BioPark(R&D、生産機能)が稼働開始

- 2025年**
- ・当社の連結子会社REXCEL CO.,LTD.を吸収合併 (有機EL材料・半導体用材料等)
  - ・オチャンにストレ-ジセンターとコミュニティセンター着工

## 上場の目的

SFCは、1998年の設立以来、独自の技術と市場をリードする顧客との強固な協力関係により事業規模を急速に拡大してきました。SFCが強みを持つ有機EL・青色発光材料等は、現在スマートフォン需要を中心とする有機ELディスプレイが、今後、タブレットやパソコン等の中型ディスプレイにも適用が拡大されることにより、更なる成長が見込まれます。需要拡大への対応のため各種投資も必要となり、上場により、SFCが計画的な生産能力増強等を進めるにあたっての資金調達の柔軟性の確保が可能となり、且つ、成長を果たしてきたSFCの企業認知度向上により継続して優秀な人材を獲得し、新たな材料等の研究開発をさらに進めていくことが可能になります。

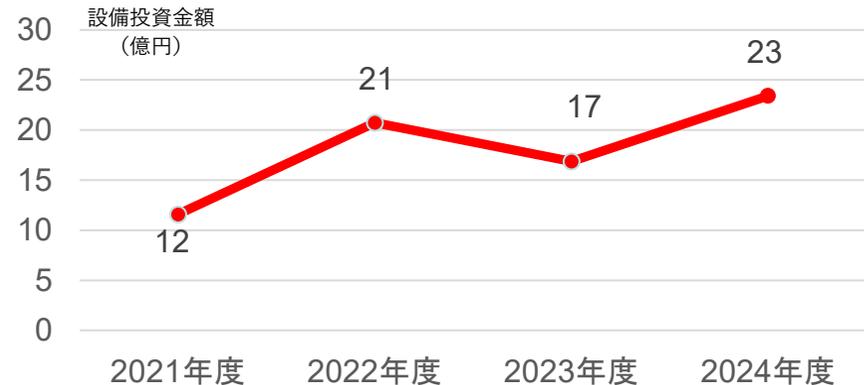
### 【2021年度以降のSFCの事業実績】

2021年度は自社開発のBio材料がCOVID-19検査キット用として販売が拡大。2025年度には半導体材料事業を推進するREXCEL CO.,LTD.を吸収合併し、有機EL事業に続く事業の柱として育成中。



### 【2021年度以降のSFCの設備投資金額】

需要の増加に対応するために、段階的に設備の増強を実施。有機ELの事業拡大を実現しながら、新たな事業の育成のためにBIO材料の設備投資も実施。



## 当社グループ・中期経営計画「SPEED 25/30」における位置づけ

### 【事業ポートフォリオの強化】

・SFCを中心とする当社グループの有機EL事業のさらなる成長と日本における「BIO材料事業」「半導体材料事業」の新たな展開を推進し、「機能性色素セグメント」を中心に「次世代事業」への再投資を実施していく考えです。

#### 2021年度以前の事業領域

有機EL、機能性色素、イメージング材料  
PTG、接着剤、防水材、ホスゲン誘導体  
過酸化水素、過酸化水素誘導体  
除草剤、殺虫剤  
危険物物流



#### 「SPEED 25/30 フェーズ1」で加わった新たな事業領域

BIO材料、半導体材料、メタルフリーアルミ着色染料  
BIO-PTG、新規ポリオール (PTG-SOFTENA)  
過酢酸  
酸素供給材  
ISOタンクコンテナ保管事業

【SPEED 25/30 フェーズ2】  
フェーズ1で実現した変化の成果を刈り取ることに加え、「BIO材料」「半導体材料」等の日本国内での展開を推進する。

### 【企業価値の向上と株主還元】

・成長分野への投資により事業機会を確実に獲得することで、上場後も、引き続き、連結子会社SFCを含めた当社グループ全体としての企業価値向上に努め、株主の皆様への還元を拡充していく考えです。

#### 【資本政策の基本】

「成長投資」「株主還元」「内部留保」のバランス重視による、資本効率の最大化

#### 「フェーズ1での実績」

・韓国での積極的な事業投資  
・期間中 毎年増配：'21→'25増配率+66%  
DOEは '21→'24(実績)増加率+38%  
・連結自己資本比率60.9% (2024年度)

#### 【SPEED 25/30 フェーズ2】

国内への積極事業投資による更なる事業強化と収益力の向上。それをベースとした更なる株主還元の拡充